

研修医1年目の近況報告 (28期生)

「半年を振り返って」

東大阪市立総合病院 研修医 花房 宏 昭

琉球大学医学部同窓会の皆様、ご無沙汰しております。28期生の花房宏昭と申します。同窓会員の諸先輩方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

我々28期生はこの3月に母校を卒業し、初期研修医として医師としての第一歩を踏み出しました。このたび一年目の近況をということでお話をいただきましたのでご報告させていただきます。

私は沖縄を離れ、出身地である大阪府の東大阪市立総合病院で初期研修をさせていただいております。出身地でありながら、医師、看護師、医療スタッフから患者までがすべて大阪弁を話す異様な空間に若干の戸惑いを感じつつ始まった初期研修でしたが、気が付くと半年が過ぎました。上級医、医療スタッフに助けられながら、また個性的な同期と切磋琢磨しながら頑張っています。

半年経ち4月の右も左もわからなかったころと比べると少しは考えながら検査を出したり、処方を考えたりすることができるようになりました。また貴重な症例を受け持つ機会にも恵まれ学会で

症例報告もさせていただきました。このようにいろいろな経験をしつつ研修を行うことができます。まだまだ至らない点も多いですが今後も研修医としてできることを増やしていきたいと考えています。

また28期の関西で研修をしている同級生とは半年に一度集まる機会を作るようにしています。それぞれ違う病院で務めており情報交換をしたりストレスを発散したりと、関西にいながら琉球大学とのつながりを感じることもできています。

まずは2年間しっかりと大阪で研鑽を積もうと考えております。琉球大学の先輩方とどこかでお会いする機会がございましたら是非ご指導いただけますようお願い申し上げます。

末筆ながら同窓会員の皆様の益々のご健康、ご多幸をお祈りしつつ近況報告とさせていただきます。

